

校長室の窓から

長門市立深川中学校

校長室だより

2021.12.6 No.31

生徒会執行部役員のこれまでの活躍に全校生徒がねぎらいの拍手を 笑顔の全校集会。命の大切さも。



12月2日（木）の6校時に全校集会を開きました。表彰、朗唱の紹介、専門委員会の報告に加え、7日（火）に開催される市内意見発表大会に出場する2名の生徒が、全校生徒の前で発表しました。

恒例の生徒会企画の時間には、ジェスチャー伝言クイズを行い、和やかな雰囲気の中、たくさん笑顔が見られました。（写真）

生徒会企画の後には、11名の生徒会執行部と専門委員長が前に立ち、生徒会長がこれまでの生

徒会活動への協力に対して感謝の言葉を述べ、全校生徒がねぎらいの大きな拍手を贈りました。

会の最後には、大堀生徒指導主任が「象の背中」という短編アニメーションの視聴とともに、「命の大切さ」について、次のような話をしました。

今、みんなに見てもらったのは、命の大切さを考えさせられる動画だったと思う。命が大切なことは、誰もがわかっていると思うけれど、では、なぜ命は大切なのだろうか。

答えは二つあって、一つは、命がたった一つしかないかけがえのないものであるから。そしてもう一つは、命は自分だけのものではなくて、自分が大切に思っている人たちのものでもあるからだ。

最近、愛知県の中学校で悩みを抱えていた生徒が、級友の命を奪ってしまうというとても痛ましい事件が起こった。みんなの中にも、悩んだり苦しんだりしている者がいるかもしれない。命の大切さや重さを軽く考えてしまいがちな者もいるかもしれない。だから、悩んだり苦しんだりしたときは、必ず誰かに相談してほしい。誰かに自分の思いを打ち明けることで、もう一度命の大切さを考え直すことができるはずだ。

象の背中～旅立つ日 主題歌（一部抜粋）

ある朝目が覚めたら 神が待ってた
命に終わりが来ると
そっと知らされた
どうして僕だけが 旅立つのか？
運命のさざ波に 声は届かない

一番近くの 大事な人よ
しあわせだったか？
それが気がかり



もしも僕がいなくなったら
最初の夜だけ泣いてくれ
君と僕が過ごした歳月を
思い出しながら 見送って……

作詞：秋本康(2007)

【学舎の隅で】

▼母が亡くなって3年以上が過ぎました。父は私が4歳のときに亡くなり、母は一人で私を育ててくれました。▼大堀先生が紹介された「象の背中」の動画を見ながら、母に心配をかけ続けた後悔や、父はどんなことを思って亡くなったのだろうかという疑問がわいてきて、自然と涙がこぼれてきました。▼私が元気であることがせめてもの恩返し。動画を見終えてそんなことを思いました。